

和泉イブニングセミナー 『ドライコーティング技術』

現代の表面処理技術は、様々な製品の開発においてその性能を大きく左右するキーテクノロジーとなっています。中でも、ドライコーティング技術は、金属製品の耐摩耗性や耐食性の向上を目的として、機械、電気・電子、化学など様々な産業分野の部品や製品に用いられています。最近では、ドライコーティング技術はクロムめっきの代替処理の環境対応表面処理としても注目を受けており、その関心がますます高まっています。

本セミナーでは、金属製品のドライコーティング膜に興味のある方を主な対象として、硬く低摩擦コーティングとして注目されているダイヤモンドライクカーボン（DLC）の成膜技術と、50 μ m～1mm程度の厚膜を形成できる溶射技術の2種類の表面処理技術を取り上げ、それらの技術の概要と産業界における適用事例などをわかりやすく解説します。

主催：(社)大阪府技術協会、和泉市ものづくりサポートセンター

共催：大阪府立産業技術総合研究所

日時：第1回 平成22年8月23日(月)午後6時30分～8時

第2回 平成22年8月30日(月)午後6時30分～8時

場所：和泉シティプラザ 生涯学習センター 3階 学習室2A(23日)/3A(30日)

定員：20名(受講申込をお受けした方には電話又はメールにてご連絡いたします。)

受講料：10,000円(2回分)

(社)大阪府技術協会の会員様は同協会から6,000円の補助があります。

和泉市所在の中小企業様は同市役所から受講料の半額補助があります。(要申請)

申込先：(社)大阪府技術協会までFAXまたはメールにてお申込みください。

和泉市あゆみ野2丁目7番1号 大阪府立産業技術総合研究所内

T E L : 0725-53-2329 F A X : 0725-53-2332 メール : yamanaka@tri.pref.osaka.jp

各回の概要

第1回 8月23日「溶射技術の基礎と応用」

講師：大阪府立産業技術総合研究所 機械金属部 金属表面処理系 主任研究員 足立 振一郎

溶射とは溶融した材料を製品に吹き付けることで、皮膜を形成する技術です。この技術では、耐摩耗および耐腐食などの用途に合わせて、金属、タングステンカーバイドなどのサーメットおよびセラミックスなどの皮膜を選択することができます。本セミナーでは、溶射に用いられる装置および溶射皮膜の種類とその用途を中心に説明します。

第2回 8月30日「ダイヤモンドライクカーボン（DLC）コーティングの基礎と応用」

講師：大阪府立産業技術総合研究所 機械金属部 金属表面処理系 主任研究員 三浦 健一

DLC膜は1990年頃から盛んに研究開発が進められてきた表面材料です。この皮膜は主構成元素が炭素で、硬く、優れた摩擦・摩耗特性を有しており、近年の環境問題の後押しを受け、ここ数年で著しく実用化が進んでいます。本セミナーでは、代表的なDLC膜の成膜方法や各種性質ならびに適用事例について解説するとともに、大阪府立産業技術総合研究所でのDLC膜に関する研究内容を紹介します。

